

一般社団法人日本地域看護学会
2021年度第4回理事会議事録

I. 日 時 2022年2月6日(日) 15:30～17:00

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議
配信元:株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子
副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子
理 事 秋山 正子, 石橋みゆき, 石丸 美奈, 大木 幸子*, 大森 純子,
蔭山 正子, 岸 恵美子, 北山三津子, 小西かおる, 田村須賀子,
永田 智子, 春山 早苗
監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代
事務局 筒井 愛, 野田 智己 (*印は欠席者)

IV. 議 事

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

審議事項

1. 前回理事会議事録について(宮崎理事長)資料1
2021年度第3回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。
2. 2022年度社員総会について(石丸理事)資料2
2022年度社員総会について、書面にて決議を取ったうえで、オンライン会議にて議決結果を確認する開催形式とする旨を決定した。事前に議決権を有する社員に資料および議決権行使書・委任状を送付して回答を受け付け、6月26日(日)13:30～14:30、Zoomによるオンライン会議にて、議題の承認ならびに意見交換を行うこととした。
3. 2022年度ならびに2023年度事業計画案について(石丸理事)資料3
2022年度事業計画案ならびに2023年度事業計画案について、資料を基に確認し、これを承認した。ワーキンググループの活動内容を加筆のうえ、次回理事会において再度確認し、2022年度社員総会に諮ることとした。
4. 2022年度予算案について(石橋理事)資料4
2022年度予算案について、資料を基に確認した。委員会活動費およびアーカイブ動画公開サイトの新規構築費等を見直したうえで、次回理事会において再度確認し、2022年度社員総会に諮ることとした。
5. 2021年度表彰論文および名誉会員について(北山理事)資料5
表彰論文選考委員会にて選考した、2021年度表彰論文ならびに名誉会員候補者について、資料を基に確認した。論文賞は、今回代議員による投票期間を長く設けたことで(2021年12月7日～2022年1月17日)、投票率が昨年度より9.9%上がり54.7%であった旨、投票結果を受けて委員会にて以下のとおり優秀論文賞1編および奨励論文賞2編を選考した旨を報告した。選考方法も含め適切であることを確認し、これを承認した。

優秀論文賞

タイトル:認知症高齢者の生活支援に向けた地域包括支援センター保健師のコーディネート
ン尺度の開発(原著)

著 者：岡野明美・上野昌江・大川聡子

巻 号：第 23 巻第 1 号

奨励論文賞 1

タイトル：市町村保健師の職業的アイデンティティの形成プロセスと影響要因；複線径路等至性モデリング (TEM) による 4 類型からみた特徴 (原著)

著 者：小路浩子

巻 号：第 23 巻第 2 号

奨励論文賞 2

タイトル：アクションリサーチによる地区組織基盤の世代間交流プログラムの開発と評価 (研究報告)

著 者：有本 梓・伊藤絵梨子・白谷佳恵・田高悦子

巻 号：第 23 巻第 2 号

また、名誉会員候補者は、2004 年度学術集会長であり、理事を 2 期 6 年間務めた早川和生氏を推挙し、2022 年度社員総会にて承認を得ることとした。

なお、第 25 回学術集会において、オンラインによる表彰式を執り行うほか、表彰論文は会場でのパネル掲示を行うとともに、学会 HP に選考理由・受賞者の声を掲載することとした。

6. 第 25 回学術集会理事会セミナーについて (荒木田理事) 資料 6

第 25 回学術集会における理事会セミナーについて、研究を政策的に進めるという観点から、「ライフサイエンス政策の現在；科学と社会をつなぐ」をテーマに講演を企画することとした。講師候補者として菱山 豊氏 (徳島大学副学長) が選出され、理事長および副理事長より打診することとした。

7. 健康危機管理システムの活用について (宮崎・春山理事) 資料 7

健康危機管理システムの今後の活用について、災害支援のあり方検討委員会にて検討した結果、本システムの初期の目的は達成できたことに加え、今後は IHEAT との連携や学会としての情報提供に注力すべきでは等の意見が出されたことから、本システムの運用を終了することを決定した。また、会員には HP 等で報告することとした。

8. アーカイブ動画公開サイトについて (大森理事) 資料 13-2

研究活動推進委員会が主催するセミナーについて、2020 年度：2 回 (2019 年度セミナーの延期分 1 回を含む)、2021 年度：1 回の計 3 回分のアーカイブ動画があるため、会員向けのサービスとしてオンデマンド動画の配信を企画している旨を報告した。今後、動画コンテンツを Web 上で配信するためのシステムである動画配信プラットフォームを整え、著作権などの契約関連、参加費を支払って参加した会員との差別化などを検討したうえで進めることとした。また、学術集会や他の委員会活動等でも活用できることから、動画配信プラットフォームの構築費については、委員会活動費ではなく予備費から支出することとした。

9. ワーキンググループの次年度へ向けての提案について (荒木田理事) 資料 13-7

活動推進エンジンチームからの提案事項として、以下の 3 点が挙げられ、次年度も継続して検討を行っていくこととした。

- ・学生会員・ユースプログラム制度を検討する専門プロジェクトを作る (2022 年度)
- ・現場参加型の学会を作るための組織 (実践促進委員会等) や仕組みを検討する臨時委員会を作る (2022 年度)
- ・他学会とのコラボレーションを行い、学術集会担当理事を中心に、学術集会において理事会企画を 2 本 (学術的企画・コラボレーション企画) 実施する (2023 年度)

10. 第 27 回学術集会長について (宮崎理事長)

2024 年に開催される第 27 回学術集会の学術集会長について検討し、候補者の理事と引き続き調整を続けることとした。

11. 入退会申請者および年会費滞納者について (石丸理事) 資料 8・別紙資料

入会申請者 9 人、退会申請者 15 人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申

請者で推薦人がいない4人のうち、2人は小西理事、残り2人は宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

また、会費滞納者について、2年滞納の28人は会員資格の継続を認め、引き続き年会費を請求し、3年滞納の12人は退会手続きを取ることとし、これを承認した。

12. その他

1) 新型コロナウイルス関連情報特設サイトの終了時期について（石丸理事）

「新型コロナウイルス関連情報特設サイト」は、新型コロナウイルス感染症に関して幅広い情報を提供する目的で総務担当理事・広報委員会にて運用を行っているが、現時点ではコロナ収束の兆しがみえないことから、当面の間、継続することとした。ただし、サイト開設当初に比べて、現在は厚生労働省のHPでも閲覧可能となっている情報も多いことから、時期をみて終了の判断をすることとした。

報告事項

1. 第24回学術集会について（岸理事）資料9

第24回学術集会の収支決算書（修正案）を基に、オンライン開催におけるシステム利用費や人件費などを修正した旨、近日中に会計監査を予定している旨を報告した。また、2015～2021年の学術集会における参加者の推移等をまとめた資料を提出し、第24回学術集会では特に非会員からの参加が多かったことや、会場での開催とWeb開催とでは集客に明確な関連性はみられなかったことについて報告した。

2. 第25回学術集会について（田村理事）資料10

1月11日より演題登録・ワークショップの受付を開始し、会員および日本看護系大学協議会会員校に開催案内・チラシを配布した旨を報告した。演題登録数は約100題程度を想定しており、査読委員に代議員の登用を予定していること、理事会セミナー・表彰式はオンラインにて実施すること、表彰論文のパネル掲示を会場にて行うことについて報告した。

3. 第26回学術集会について（荒木田理事）

2023年8月26日（土）～27日（日）の日程で、川崎市の会場とWebでのハイブリッド形式による開催を予定している旨、テーマなどについては企画委員会にて検討中である旨を報告した。

4. 会員数について（石丸理事）資料11

1月31日時点での会員数は、1,435人である旨を報告した。

5. 2021年度事業報告について（石丸理事）資料12

2021年度事業報告書案（学会全体および委員会活動）を基に報告した。3月に開催予定である委員会セミナーの参加者を追記する等、全体を再度確認し、2022年度社員総会に諮ることとした。

6. 委員会報告について

一部、資料による報告にて内容を報告した。

1) 編集委員会（永田理事）資料13-1

- ・活動推進エンジンチームからの依頼を受け、若手研究者向けのサービスの充実について検討した。
- ・第25回学術集会の一般演題の座長に対して、学会誌への投稿論文に繋がる演題の推薦を依頼する予定である。

2) 研究活動推進委員会 資料13-2

- ・3月の委員会セミナーの開催に向けて準備を進めている。
- ・アーカイブ動画公開サイトの運用に向けて、引き続き検討する。

3) 広報委員会 資料13-3

- ・HPの掲載内容の確認と充実を目的として、定期的に確認を行っている。
- ・地域包括支援センター1,010か所に、学会入会案内カード、学術集会開催案内・チラシ、アンケートハガキを送付した。

4) 教育委員会 資料13-4

- ・地域・在宅看護論の教育内容や学会が目指す看護師像について、委員会内で意見交換を行っている。
- ・「地域看護学の卒業到達目標と内容・方法」を評価し、周知を図るとともに、図などを用いて地域看護学の見える化を目指す。

5) 国際交流推進委員会 資料 13-5

- ・第 24 巻第 1 号に英文ニュースレターNo.20 を掲載した。
- ・第 7 回世界看護科学学会学術集会 (WANS) ならびに第 7 回国際地域看護学会 (ICCHNR) の詳細について、メールマガジンにて情報提供した。

6) 表彰論文選考委員会 資料 13-6

- ・2021 年度表彰論文として、優秀論文賞 1 編、奨励論文賞 2 編を選定した。
- ・学会 HP と第 24 回学術集会講演集に 2020 年度表彰論文の抄録を掲載した。

7) 災害支援のあり方検討委員会

- ・健康危機管理の教育方法に関する調査を行った。
- ・第 24 回学術集会にて、ワークショップ「保健師教育における健康危機管理の教育方法；指定規則の改正及びコロナ禍の経験を踏まえて」を開催した。
- ・オンライン会議の増加等により支出の削減ができていることから、2022 年度の希望予算額を 100,000 円に減額する。

8) 活動推進エンジンチーム 資料 13-7

- ・会員獲得、魅力ある研修会・学術集会づくり、若手研究者向けのサービスの充実等、関連する委員会に検討を依頼した。
- ・今後の学会としての取り組みについて検討し、理事会への提案事項としてまとめた。

9) 次世代研究活動推進チーム (田高理事)

- ・地域看護学の再定義の実装に役立つ研究課題のロードマップ作成事業として、役員・代議員へのインタビュー・Web 調査 (パブコメ) を行い、取りまとめた地域看護学研究のロードマップを 2022 年度社員総会にて報告予定である。

7. 2021 年度中間決算について (石橋理事) 資料 14

1 月 31 日付の収支計算書を基に、2021 年度中間決算について報告した。

8. その他

1) JANA 将来構想プロジェクト報告について 資料 15

2022 年 1 月 4 日に JANA 情報交換会が開催され、石丸理事が出席した。

2) 次回理事会の日程について (宮崎理事長)

2022 年 4 月下旬～5 月上旬に次回理事会を開催することとした。